

「ダブルケアラーに関する調査—就労者のダブルケアと健康状態の関連—」説明文書

日本では少子高齢化や母親の第一子出生年齢上昇に伴い、子育て中に親などの介護が必要になる人が増えています。子育てをしながら、介護をしている状態を「ダブルケア」と言い、このような状態の方を「ダブルケアラー」と言います。働きながらダブルケアを行っている方の健康状態は十分に明らかにされていません。

そこで、働いているダブルケアラーがどのくらいいらっしゃるかの実態と、そのような状態の方の健康状態を明らかにすることを目的に調査を行うことにしました。ダブルケアラーの健康状態の特徴が明らかになることで、効果的な健康維持や生活習慣病の重症化予防に向けた支援につながると考えられます。アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

この研究は宮城大学研究倫理専門委員会承認を得ております（承認番号：令和8年度宮城大69号）。

【調査の内容】

1. この調査の目的

この調査は、就労者のダブルケアと健康状態の関連性を明らかにすることを目的とします。

2. 調査方法

1) 調査の体調となる方

この調査は、現在、全国健康保険協会宮城支部の被保険者で令和7年度の健康診断を受診した方から、無作為で選ばれた25,000人を対象とします。雇用形態、役職や週当たりの勤務時間は問いません。

2) 内容・方法

この調査はアンケート用紙、またはwebからご回答いただくアンケート調査と、その結果を皆様の健康診断結果とレセプト情報と突合して分析を行います。主なアンケート調査の項目と、健康診断結果とレセプト情報から収集する情報は下記のとおりです。アンケートはご家族に関する質問等がありますので、他の人に見られない環境で回答してください。

- **アンケート調査項目**：家族、介護、育児、および就労の状況、ダブルケアの認知度、心理的ストレス、等
- **健康診断結果**：年齢、性別、血液検査（コレステロール、血糖、肝機能の項目等）、尿検査、計測（血圧、腹囲、BMI）、問診項目（服薬状況、既往歴、喫煙・運動・食事・睡眠の状況、生活習慣の改善意思、等）
- **レセプト情報**：診療を受けた年月・実日数、ICD10コード（疾病の分類）、高血圧・糖尿病・高脂血症の出現回数

3. 倫理的配慮

1) 個人情報の取扱いについて

- この調査の対象となる方それぞれに個別の番号を振った名簿を作成し、アンケート調査と健康診断結果等が紐づくようにしています。名簿の管理、アンケート調査と健康診断結果等の紐づけは全国健康保険協会宮城支部内で限られた職員のみが入退室を制限した室内で行います。データはすべてパスワードを設定して保存いたします。なお、宮城大学の研究者は皆様の氏名を除いたデータを受け取ります。
- 分析は研究者の研究室内で行い、使用するパソコンは最新のウィルス対策を行います。データは外付けハードディスクに保存し、研究者の研究室、または全国健康保険協会宮城支部の執務室内の鍵付きのロッカーに保管いたします。
- 調査の一部を委託する場合は秘密保持契約を締結し、個人情報保護を徹底します。

2) 参加の自由と同意撤回の自由

この説明文書をよくお読みになり、十分に考えたうえ、この研究に協力するか自由な意思でお決めください。なお、質問紙とwebにある調査への同意欄チェックによりこの調査への同意が得られたものとします。質問紙の投函前、webの送信前であれば、回答を途中で中止することができます。また、回答後30日以内であれば同意撤回が可能です。30日を過ぎた場合、分析から個別のデータを削除することが困難なため、同意の撤回はできません。同意撤回をする場合、全国健康保険協会宮城支部 企画総務グループまでご連絡ください。

3) 調査への参加により予想される利益と不利益について

(1) 参加により予想される利益

研究参加により、回答いただく皆様への直接的な利益ございませんが、間接的な利益として、ダブルケアラーの健康状態に関する特徴を把握できるため、重点的に支援すべき事項が明らかになり、ダブルケアラーの健康維持・増進に向けた支援の拡充につながる可能性があります。企業にとっては、ダブルケアラーが健康を維持しながら、働き続けられる環境を整備するための資料となると考えられます。

(2) 参加により予想される不利益

この研究では、心身の健康被害に至る可能性は極めて低いと考えられますが、アンケートの質問にこれまでのダブルケアや就労の経験や考えを問う項目があるため、精神的負担となる可能性があります。精神的負担を感じた場合には回答を直ちにお止めください。万が一健康被害に至った場合は、研究対象者の自己負担による対応となります。

なお、この調査には15～20分程度の時間を要します。また、webから回答する場合は、通信料が発生する可能性があります。

4) 調査結果の公表方法について

この調査で得られた結果は、企業や個人がわからないかたちで学会や学術雑誌等にて公表される予定です。

この調査研究に関する計画書や調査結果についてお知りになりたい場合は、他の研究対象者の個人情報に関わる部分や研究の独創性の確保に支障がない範囲でお見せいたしますので、研究責任者までお問い合わせください。なお、企業に対して、個人が特定されないか

たちで全国健康保険協会宮城支部から調査結果を案内する可能性があります。

5) この調査研究の資金源と利益相反について

この調査研究は、データ収集は全国健康保険協会宮城支部が保険者機能強化予算、データ分析は宮城大学指定研究費、または、宮城大学基礎的研究費を資金源として行います。

利益相反とは、研究者が企業等から経済的な利益（謝金、研究費、株式等）の提供を受け、その利益の存在により研究の影響をおよぼす可能性がある状況のことをいいます。特定の団体からの資金提供や無償提供は受けておりませんので、研究組織全体に関して起こりうる利益相反はありません。

6) お問い合わせ先

この調査研究についてご質問がありましたら、全国健康保険協会宮城支部 企画総務グループにご連絡ください。

また、この調査研究に倫理的な問題があると思われる場合には、下記の宮城大学研究倫理専門委員会に申し出ることができます。

【お問い合わせ先】

【研究全般に関するお問い合わせ】 全国健康保険協会宮城支部 企画総務グループ

〒980-8561 仙台市青葉区中央4-4-19 アーバンネット仙台中央ビル14階

E-mail: TEL022-714-6850

【研究内容に関するお問い合わせ】 研究責任者：宮城大学看護学群 講師 伊藤佳美

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1 E-mail: itohy@myu.ac.jp TEL022-377-8239

【研究倫理に関するお問い合わせ】 宮城大学研究倫理専門委員会委員長 武田和久

〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1-1 E-mail:kenkyu@myu.ac.jp TEL022-377-8319